

NPO等市民活動団体の地域社会貢献

- 1、目標： NPO等市民があらたな公共を生み出すまち
 2、指標

	現状	2015	2020
○市民のNPO/ボランティア参加者率			
○コミュニティビジネス起業数			
○協働フロンティア事業実績数			
○箕面市NPO政策提言数			
○箕面版NPO条例登録団体数			
○箕面市NPO協働事業実績規模			
○箕面市第3セクター自主事業実績数			

3、現状と課題

箕面市では、非営利公益市民活動の社会的な重要性・有効性を全国に先駆け認識し、公共事業としてその育成・支援するとともに協働化に積極的に取り組んできました。従来から行政とともに地域社会の公共を担ってきた、各種公益法人・社会福祉法人に加え、すべての公共分野で、市民の地域社会の現状に対する問題意識や自律的な社会参加の活力が集まり、NPO法人や箕面版NPOが数多く生まれました。行政が行き届かない公共サービス領域のボランティアにとどまらず、行政では及ばない市民の目線ならではの公益サービスの開発や、新しい地域社会のニーズに対応した行政との協働事業など、地域社会に活力をもたらしながら、公共サービスの多様化、高質化、効率化を進める担い手として一翼を担ってきました。

しかし、NPOに対する市民一般の理解・認識が地域社会に定着し切きれていないこと、NPO法人/コミュニティビジネス等、自律力のあるNPOが少ないこと、NPO等市民活動団体間や企業・大学・地域市民活動団体等とのネットワーク網が発達しきれていないこと、行政との協働事業・市政参加等での対等なパートナーシップが未成熟であるなど、克服していくべき多くの課題がまだまだあるのが現状です。

箕面においてのこれら問題は、地域社会の中で、「市民とつながり支えられた市民公共セクター」として自律した存在、役割、機能を築く上で、必ず通る発展途上の課題といえます。今後、「市民主体のまちづくり」の理念の下、市民、NPO等市民団体、中間支援組織、行政、企業・大学などが力を合わせ、方向性と課題を共有・克服し、「市民の、市民による、市民のための豊かな公共の社会」をめざし、育て上げていくことこそがなによりも重要な取り組みです。

4、必要な取り組み

(1) 市民等が取り組むこと

- NPO等市民活動団体のエンパワーメントの醸成
 NPOの公共サービスの質・内容をより充実していくために、事業遂行の専門的能力・情報や組織運営マネジメント力を高める
- NPO等市民活動団体の組織化・ネットワーク化
 広域機能・補完機能・調整機能を担うNPO等市民活動団体のアソシエーションを整え、支

援力を強化する。また、公共課題の共有化・協働事業機会の発見、市政への参画のために、分野別ネットワークを推進する。市民活動団体の情報一元化・情報公開に取り組む

○ 人財・情報・資金のファンド化

市民が市民を支えるしくみとして、人財、情報、資金等活動資源を、市民（事業者含む）行政、企業・大学等との関係を強めファンド化する

○ 地域コミュニティ・市民各種サークル団体との連携

地域コミュニティとの活動連携や資源交流を進める。また市民各種サークル団体の公益活動参加をひろめる

(2) 市民等・行政が協働で取り組むこと

○ 行政業務の委託・移管、協働フロンティア事業の推進

過去から行ってきた行政サービスを見直し、委託・移管を計画的に進める。また、コミュニティビジネス化をも視野に入れ、新たな公共課題についての事業化を、双方積極的に進める。

○ 協働の評価指標

協働事業の効果・効率をみる評価尺度の指標化・計量化をすすめ、客観的に総合評価ができる土壌をつくる。

○ 分野別の公共課題の共有化と市政参画

双方の立場や強点・弱点の理解を深め、信頼を高めながら、新たな公共サービスの効率的な創造につなげるため、地域社会における公共課題の共有化をはかる。また、専門的な情報や活動力を

市政の政策や計画に活かせるように発展させる。そのためのしくみを整える。

(3) 行政が取り組むこと

○ 「みのお市民社会ビジョン2020」(仮)の行政主導での策定

今までの進化過程や課題等地域社会の発展を総括し、市民主体の地域経営の観点から、当提言をもとに、幅広い英知を結集した「発展のための青写真」を構築する

○ NPO等市民活動団体発展のための行政支援

新たな機能、機関や制度設計に伴う行政支援を行い、新しい仕組み運営を支える

○ パートナリシップ推進員制度や協働推進連絡会の強化推進

各課を超えて横断的に結ぶパートナーシップ推進員制度や協働推進連絡会を、協働の現場での課題点の明確化や、課題解決をはやめるため、早期定着化する

5、個別案件に関する提言

○、市民ファンドの設立

市民と行政も含めたファンドの原資調達方法など、具体的な方策について検討する必要がある。市への寄付と同額を積み上げるマッチングギフト方式や、市の税金の1%をNPOに寄付する仕組みなど、他市で実践している例などを調査することで、箕面市に最適なファンドのあり方を探る。

6、まちづくりの効果

(1) 市民主体の、市民・民間活力の、市民自治の地域社会に進化し、行政の改革も進む

(2) きめ細かい豊かな地域公共や、新しい事業が生まれ、町の活力が増す

(3) 市民の地域社会参加・参画により、個の存在価値や役割が増え、交流も進む